

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
バスの利便性向上 双方向運行、駅等へのアクセス強化、ルート見直し

(8) 改善実績（過去3年間の実績）
H16.4.1 4台8ルートとなる H17.3.6 全てのルートをリニモ駅に接続 H18.4.1 平成こども塾バス停新設、愛・地球博記念公園駅をロータリー内に移設

(9) 業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	5点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3点
		平均 3.5点

(10) 総合評価（課の見解）	
①今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 ②. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	ルート等の見直しを中心として、利便性を高める必要があるため。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
双方向運行やリニモ等との連携など、利便性向上に対する検討が必要。 ルート等の見直しに伴い、地域公共交通会議の開催が必要となる。